

Weekly

# 尾張旭ロータリークラブ

- ・会長 桜井 雅博・幹事 菊田 利昭・公共イメージ向上委員長 谷口 亜弥
- ・例会日 毎週金曜日 12:30
- ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3 尾張旭市商工会館内
- ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
- ・E-mail: jimuro@owariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org



## 2021-22 年度地区方針

「チェンジロータリー 新時代への成長に！」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

本日 第2415回 2022年1月7日(金) No. 2296

### 本日のプログラム Today's Program

点 鐘 12:30  
 斉 唱 「君が代」・「奉仕の理想」

卓話担当者:例会運営委員会

卓 話 者:尾張万歳 様  
 演 題:「尾張万歳の由来等」

前回 第2414回 2021年12月18日(土) 記 録

### 年忘れ家族会 於:東京第一ホテル錦

- 斉唱:「我等の生業」・「手に手つないで」
- 出席者:会員 22名中 10名出席 出席率 45.45%
- 特別出席者:森 和実尾張旭市長

### 会長挨拶 桜井 雅博



昨年は新型コロナ禍の為に開催できなかった年忘れ家族会を、本日は無事に開催させて頂く事が出来ました。昨今のコロナ感染禍や年末の大変お忙しく、お寒い中にもかかわらず、大勢のご参加を賜り、厚く御礼申し上げます。また、この家族会を開催準備して頂いたクラブ運営委員会・親睦委員会と特にご尽力頂きました江尻親睦委員長に感謝申し上げます。

さて、ロータリーの誕生は20世紀初頭1905年2月にシカゴの街で、青年弁護士ポール・ハリスがロータリークラブという会合を始めて、その集会場所を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。今では200以上の国と地域に

広がり、クラブ数は3万7千弱、会員数は120万人弱に達しています。日本では、1920年に東京ロータリークラブが創立され、現在ではクラブ数は2,223、会員数は84,450人となっています。

ところで、私が考えるロータリーとは、歯車の標章である旗やバッジが示すように、私は会員一人一人が歯車となって、ロータリーの奉仕の理念を、他の人々、次の世代につなげていくことだと思います。

さて、尾張旭ロータリークラブは、1971年1月22日に創立され、本年1月に創立50周年を迎えました。本来なら創立50周年記念事業は前期の舟橋年度に事業は完了する予定でしたが、今般のコロナ禍のため来年6月末まで続く見込みです。会員一人一人が安心して奉仕の理想に向けて活動できるのも、ご家族のご理解とご支援があるからこそと思います。今後とも皆様のご協力ご支援を宜しくお願い申し上げます。

どうか今夜は私たちの奉仕の理想を少しでも感じて頂き、年忘れ家族会をゆっくりと最後までお楽しみ頂ければと思います。本日は本当にありがとうございます。

### 職業奉仕月間

	1月14日(金)	1月21日(金)	1月28日(金)	2月4日(金)
例会予定	卓話担当者:プログラム委員会 卓話者:菊田 利昭幹事 演題:「1年の抱負」	卓話担当者:田中 祐子さん 卓話者: 〃 演題:「健康経営で地域に活力を」	卓話担当者:職業奉仕委員会 卓話者:地区職業奉仕委員会 副委員長 荒川 雅義 君 演題:「職業奉仕について」	卓話担当者:金森 俊輔君 卓話者: 〃 演題:「未定」

## ニコボックス

○出席者全員から頂きました。ありがとうございました。  
出席者全員

## 年忘れ家族会

日時：2021年12月18日（土） 18:00～

場所：東京第一ホテル錦



### 「年忘れ家族会」

#### 親睦活動委員長

江尻 豪

東京第一ホテル錦にて古橋様に助けられ無事開催できました。

出席者は36名でした。皆様、ご協力頂きありがとうございました。また、前回よりも予算も抑えることができました。会長の桜井雅博君・加藤清久君よりご協賛頂きました。



### 挨拶・乾杯

#### 名誉会員

森 和実尾張旭市長



アトラクション  
「CLOWN ミント」



## 12月3日（金）卓話（後半）

### 「療育って何？」

谷口 亜弥

お子様が良い事をした時こそが声掛けのチャンスです。その積み重ねで、お子様は生きることへの安心感や人に対する信頼感が根付きます。そして

「私は私でいいんだ。」という自己肯定感が生まれます。自己肯定感があって初めて「またがんばってみよう！」という前向きな力が生まれるのです！安心感の中で、親に見守られてやりたいことをやる！！これこそが【非認知能力】の基礎を作り、前

向きに何事も目一杯楽しめる人間に育っていくのです。

「褒める」と「叱る」どちらが非認知能力を育てると思いますか？答えは、どちらも同じこと、遊びの邪魔にしかありません。子どものすることに「上手、すごい」とホメまくるお母さんと、「やめなさい」と怒るお母さんに、どちらも1時間黙っていてもらうと、子どもはお母さんが黙って見てくれているとわかり、いつもと違う遊びを生き生きと遊び始めます。お母さんはそれぞれ我が子がこんなに遊べるなんてと驚き、今まで口を挟み過ぎていたことに気付くのでした。できるだけ子どもは子どもらしく、大人にとってのいたずらや余計なことにも怒らずおおらかに対応するのがマル。

おしまいに【心育て】ですが、その子の気持ち、暮らしやすさ、また困り事を聴き、寄り添うことが心育て、つまり発達のはじめです。ある時「飛び出しや脱走を何度もする子どもがいる。どうすればずっと教室でおとなしく座っていてくれるだろうか。」と小学校から相談を受けました。

そもそも人は、何か目的があることで指定された場所に座りますが、そこに用事が無ければ移動します。座らないという子は、その場所に目的がないと判断したので座らないだけなのです。先生は集団生活を円滑にすべく、無理やり座らせようとする。そして怖がられ避けられ子どもは座らない。それはとても悪循環です。

ではどうしたら・・・答えは簡単です！時に子どもは『何の用事や目的がなくても大好きな人の隣には自然と座る。』ことがあります。まずは先生がその子のやりたいことを一緒に楽しみ、共感し笑い合うことです。そしてその子が先生を大好きになって貰えるように、歩み寄り努力することです。

子どもと一緒に走ったりじゃれ合ったり目一杯楽しそうに遊ぶ先生の周りには、自然と子ども達が沢山います。そして先生が教室に入れば皆黙って付いていき、先生のする授業が受けたくて座り聴こうとします。つまり憧れと信頼関係です。先生が「あなたが大好きよ。一緒に楽しく遊ぼうね。」という気持ちを常々示すことで、子どもは先生が大好きになり、教えられなくても先生の真似をして椅子に座るようになります。これが【発達】です。こうやって座れるようになると子どもはどんどん前向きに変わることができます！信頼できる大人を目の前にして、どんどん良さを発揮していきます。逆に無理強いして、言い聞かせ座らせるのはただの調教です。現在も子どもをサーカスの調教のように扱い、それが躰だと言う大人がいます。今、目の前にいる子どもはまだ身体が小さく脳の成長も未熟なので誤魔化せませんが、あと5年、10年したらどうでしょう。我々大人は、子どもの憧れとなれるよう、日々人間磨きをすることが使命なのかもしれませんね！子どもはよく観ています。そして素直にジャッジします。我々大人の自分育てにはピッタリな関わりです。子どもにほめてもらった時は大いに喜びましょう。今日はご清聴ありがとうございました。